

1 基本情報					
施設名又はグループ名		指定管理者名及び団体概要			
武蔵野の公園グループ		(指定管理者名) 武蔵野の公園パートナーズ (団体の概要) 代表者：西武造園株式会社 構成員：特定非営利活動法人NPO birth、 ミズノスポーツサービス株式会社、一般社団法人防災教育普及協会			
指定期間					
R5.4.1 ～ R10.3.31 (5年間)					
2 施設名					
武蔵野公園、浅間山公園、野川公園、玉川上水緑道、武蔵国分寺公園、東伏見公園、六仙公園					
3 管理運営の概要					
公園利用の可能性をさらに広げる視点「CHANCE IN THE PARK」を掲げ、①スポーツやボランティア活動を通じて「心身の健康」、地域連携や協働イベントを通じた「地域コミュニティの健康」、生物多様性や環境負荷軽減等の「地域環境の健康」という3つのヘルシーを実現させる「むさしのヘルシーパーク」を実践した。「心身の健康」を実現するために、スポーツ教室の実施やボランティア活動を実施。パークコーディネーターがポストコロナ社会における多様なニーズを的確にとらえ、活動をコーディネート。関係団体やボランティアと調整を重ね、新たな形の活動を作ることができた。「第3回はけの自然とくらしのフォーラム」では、国分寺崖線の保全活用の推進を目的とし、国分寺崖線の緑地を所有または管理を担う、行政、企業、大学、NPOなどと連携。国分寺崖線の中下流域である世田谷区、大田区エリアや、立川崖線のエリアからも参加者が集まり、国分寺崖線全域のみならず、武蔵野エリアの崖線環境全体をつなぐネットワークの構築ができた。「地域環境の健康」を実現するために、生物多様性や環境負荷軽減としてゼロエミッション東京都への取組の一環として武蔵国分寺公園では電気自動車を初導入した。また、武蔵野公園の野球場では充電式自動草刈機を導入しガソリンの消費量削減に努めた。					
4 管理状況（維持管理）					
1. 生物多様性の保全に配慮した維持管理の実践 東京都の「水と緑の骨格軸」となる国分寺崖線や浅間山、玉川上水など、重要な自然環境を有する地域で、生態系を回復させ、東京都の生物多様性向上に資するため、戦略的な維持管理を実施。地域協働で策定した浅間山公園保全管理ガイドライン・玉川上水緑道保全活用ガイドラインなどの実践運用により、武蔵野の雑木林環境や草地環境が飛躍的に高めることができた。浅間山公園では2種、玉川上水では1種新たな絶滅危惧種を確認している。武蔵野らしい草地環境を創出し、新たな絶滅危惧種を4種確認。全7公園での希少種データベースは全部で148種となった。					
2. 利用者の安全安心な利用を支える維持管理の実践 公園情報を一元管理するために独自開発した「パークモニタリングアプリ」を継続運用し、日常の作業の記録の他、要望箇所や不具合箇所の即時報告、迅速な対応に努め、利用者の安全性のほか快適性の維持、向上に繋げた。また、過去のデータを分析し、苦情要望の発生しやすい箇所の作業計画を組む、苦情要望の削減に努めた。直管維持管理スタッフを対象に遊具メーカーを講師とした遊具点検講習を実施。実際に野川公園の遊具を教材として目視だけでなく、打診、触診などの遊具点検の方法や注意点を学び、遊具点検の安全意識や技術向上を図った。					
5 利用者アンケート結果					
実施方法：					
施設名	総合満足度	植栽管理	施設の清潔さ	安全・安心	職員の対応
武蔵野公園	4.6	4.3	4.4	4.4	4.5
浅間山公園	4.7	4.5	4.5	4.4	4.6
野川公園	4.7	4.7	4.5	4.6	4.6
玉川上水緑道	4.5	4.2	4.3	4.0	4.5
武蔵国分寺公園	4.7	4.7	4.7	4.7	4.7
東伏見公園	4.6	4.6	4.6	4.5	4.6
六仙公園	4.4	4.1	4.3	4.4	4.4
6 入園者数の状況（単位：人）					
施設名	当該年度	分析			
武蔵野公園	500,136	夏場は酷暑により日常利用が減り、スポーツ施設も熱中症対策のキャンセルが増えた			
浅間山公園	158,468	各種イベント参加者は増加傾向であったが、酷暑・荒天による日常利用が減少した			
野川公園	1,737,089	8月に利用者数が半減するなど、夏の酷暑による利用者減が著しかった			
玉川上水緑道	418,025	通勤通学利用等で日常は賑わいがあるが、酷暑や長雨などにより散策利用者等が減少した			
武蔵国分寺公園	1,038,708	持込を含めたイベントの通常開催により来園者が大きく増加した			
東伏見公園	1,152,150	コロナ渦では大変賑わっていたが、コロナ渦の収束とともに利用者数が落ち着いた			
六仙公園	281,683	日常やイベント時など賑わいを見せたが、コロナ渦の収束とともに利用者数が減少した			
合計	5,286,259				



# 都立武蔵野公園

所在地：小金井市、府中市  
開園面積：25.6ha

<マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園  
特性

地域  
特性

- 春には、**約40種・600本のサクラ**が園内を彩る。  
自由に散歩ができる園場がある  
桜マップの配布
- 苗圃では様々な木々が見られる。
- 武蔵野の**原風景を感じさせる風情**が残る。
- 古くから**地域活動の拠点**として親しまれている。  
はらっば祭り／わんぱく夏まつり等
- 武蔵野本来の林床生態系**が残る。  
ニリンソウ群生地

ポテンシャル  
分析

- 園内中央には野川が流れ、北側には調整池を挟み**国分寺崖線が残る**。
- 「武蔵野夫人」等多くの**文学の舞台となった「はげの道」**が北側に位置する。
- はげの**地域特性を活かした、地域活動**が盛ん。  
はげのおいしい朝市  
地域情報雑誌「き・まま」

テーマ

武蔵野の面影が残る  
多種の桜と苗圃がある公園

ALL  
Parks

全公園で  
展開した事業

3  
Parks

管理所のある3公園で  
実施した事業

品質向上と環境問題を意識した取り組み

## 1 DX推進と発生材活用で持続可能な維持管理を実現！

### オートモア導入により芝管理の品質・効率アップ！

▶野球場の適切な芝管理と安全かつ効率的な作業を目的に**自動芝刈り機「オートモア」を導入**した。従来の芝刈り作業量は週1回平面をスポーツトラクターで1人2時間、法面に1人2時間かかっていた所、オートモアの導入により**月16時間分を他の業務にあてることが可能となった**。またガソリンや軽油を使わないことによる**CO2削減**や、法面での転倒がなくなり**安全性を高める**ことができた。



オートモアは傾斜に強い「法面用」と稼働範囲の広い「平面用」の2台で管理



毎日稼働させることで  
キレイで均一な刈高の芝を維持！



専用アプリで離れていても  
稼働を操作・確認が可能！

### 萌芽更新による若返りと発生材活用の大径木管理

▶過密・高木化した樹木の倒木の恐れがあるものを**安全確保**や**萌芽更新を目的に伐採**し、その発生材の活用として**木杭**や**貫板として製材**した。木杭と貫板は苗木の囲いに使用し、**限りある資源の有効活用**を実現することができた。



株立ちのコナラは片側を伐採し密度を調整



萌芽更新と建物への倒木防止に繋げた



園内各所にある苗木の囲いに役立てられている



杭と貫が完成!!

伐採後の発生材を  
積み込んで製材

地域環境のヘルシーを高める・広げるプログラム

## 2 各部署が専門知識・専門技術を活かし、地域の生物多様性向上に貢献！

自然環境保全部が保全計画を策定、**都民協働・イベント部**が地域の多様なステークホルダーを巻き込み、**レンジャー部**がナラ枯れ等のレクチャーを通して普及啓発、**維持管理部**が保全計画を実施する等、各部署が専門知識・専門技術を活かして、**地域の生物多様性向上に貢献**した。

### ICUとの地域性種苗育成プロジェクト、2年で定植まで完了！

▶ナラ枯れで枯死した樹林再生のため、クヌギとコナラの**地域性種苗**を育てるプロジェクトを、**国際基督教大学 (ICU)**の藤沼研究室と協働で継続実施。令和3年度から苗の育成を開始し、今年度は6月に除草作業、11月に新たな苗の植え付け、3月に成長した苗の掘り取りと定植を行った。学校連携を深めながら、**地域で一丸となって樹林再生**を進めることができた。



和暦2021年度3月苗植え付け作業時の様子



R5年度3月：定植作業後の集合写真



定植した苗の様子

### 生物多様性スポットの順応的管理を実施

▶カンタン保全地では樹木の高木化による日陰形成、ヨシ繁茂によるバッタ類が利用する草地面積が減少していた。そこで、**管理計画の見直し**を実施。現地で**活動している団体と調整**を行い、成長した**クワの伐採と広がっているヨシの草刈り**を行った。今後もモニタリングを続け、計画の効果を検証していく。



カンタン保全地の様子



ギンイチモンジセセリ



権利計画を見直し

### 未来へ繋ぐ樹木管理の手法

## 3 続・サクラの名所復活！親子の世代交代に向けた維持管理

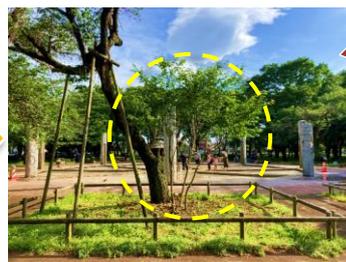
▶「**サクラの名所復活**」の取組みの中で親桜の下に出てきたひこばえを**世代交代に向け育成**してきたが、過密となり親桜の花数も減少してきたため、**親サクラの樹勢回復**、**ひこばえの健全な成長**のため維持管理スタッフで**剪定**や**樹幹注入**を実施。この他、各所のサクラが成長の阻害となっている大径木を間引くなど、名所復活に向けて引き続き取り組んでいる。



親サクラに対しては枯れ枝の剪定や樹幹注入剤を投入！



過密となったひこばえは主幹3本を残して間引き剪定！



成長促進！

接木した苗木も園内で育成中

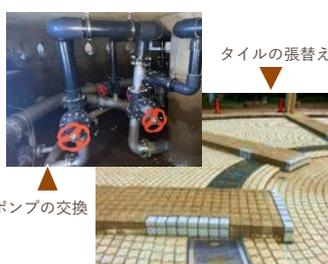
### 定期的な点検整備と更新修繕を組合せた取組

## 4 親しまれる武蔵野の水景施設へ

▶複数年計画で取り組む「**武蔵野の泉**」**修繕計画**では列石ポンプ1台とタイルの修繕を実施。春・夏の稼働に合わせた計画で、今年も親子で水に親しむ姿が見られた。



子ども達で賑わう【武蔵野の泉】



ポンプの交換

タイルの張替え

### 自治体・民間と連携した取組

## 5 東京都整備事業に貢献！

▶これまでスケートボード広場は正式に認められておらず不適切利用とされていたが、スケートボード団体とコミュニケーションを図り慎重に協議を進めてきた。そのため東京都の整備決定後、円滑にセクションの撤去、撤退に結びつけることができた。



令和3年ごろの利用状況



セクションは全て撤去された

### その他の取組

- ・植栽均衡、植栽と構造物の共存、形姿が向上する景観
- ・大径木の過密化・形質不良改善するための樹林管理
- ・公園が持つ緑の特性を一層引き出すための維持管理
- ・三団体連携により長期滞在者の課題を解決

- ・人材育成による災害対応能力向上・HTT推進
- ・電子manifesto導入(8)
- ・手ぶらBBQ Day開催
- ・スポーツイベントチャレンジキャラバン開催

- ・野鳥観察マナーアップキャンペーン
- ・災害時の対応力向上と防災設備点検の実施



# 都立浅间山公園

所在地：府中市  
開園面積：8.8ha

< マネジメント目標（武蔵野公園パークマネジメントプランより） >

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園  
特性

- 全国で唯一の**ムサシノキスゲの自生地**である他武蔵野の面影を残す動植物が豊か。
- 公園懇談会「**浅间山を考える会**」を定期開催。市民団体や自治体、大学等で構成。
- 浅间神社、おみたらし神社、人見四郎の墓跡、富士見百景などの**歴史的文化的資産**がある。
- 毎日の散歩に訪れる利用者のほか、花の見ごろの時期には遠方より来園する**ナチュラルリスト**も多い。

ポテンシャル  
分析

地域  
特性

- 多摩の台地が古多摩川等で削られ、**残った小高い丘**が浅间山となった。
- 公園東側に隣接した**多磨霊園**、**近隣の府中の森公園**、**東京農工大学の緑地**がある。
- 近隣に保育園、小学校や高校、大学があり、**環境教育の場**として活用されている。

テーマ

武蔵野の生物多様性の  
保全モデル

都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

## 1 産官学民さまざまな主体と連携して、協働型の公園づくりを実践！

浅间山のより良い姿について考える地域協議会「**浅间山を考える会**」と、そこで策定した「**浅间山公園保全管理ガイドライン**」を軸に、**協働型の公園づくり**を継続。**パークコーディネーター**が中心となり、自然・文化・歴史等に関する**産官学民さまざまな立場の意見**を、バランス良く取り入れるよう調整を進めた。

「浅间山を考える会」を開催

- ▶「浅间山を考える会」を**年4回開催**。「**キスゲフェスティバル**」等のイベントや調査、維持管理等、あらゆる事業の計画・報告・意見交換を行い、公園づくり**に産官学民多様な主体を巻き込んだ**。



「浅间山を考える会」の様子

### 【浅间山を考える会】

浅间山で活動する産官学民様々な主体で結成された地域協議会。公園の管理・活用・保全等について多様な立場と視点から意見交換を行い、浅间山公園のより良い姿について考える場となっている。

- 構成団体（8団体）：浅间山自然保護会/府中野鳥クラブ/浅间山ウォーキングクラブ/東京農工大学植生管理学研究室/府中市生活環境部環境政策課/府中市都市整備部公園緑地課/東京都建設局西部公園緑地事務所/武蔵野の公園パートナーズ（事務局）

ボランティア向けにスキルアップの機会を提供

- ▶浅间山での保全活動の質と安全を高めるため、「**保全管理ガイドライン&夏の安全管理講習**」を継続実施。今年度は、**パークレンジャー**によるガイドライン講習の他、**府中消防署と初連携**。消防隊員による**AED講習、応急処置の実演等**を取り入れた。



訓練道具を使って講習を実施

### 【浅间山公園保全管理ガイドライン】

浅间山の雑木林管理・生物多様性保全に関わる産官学民様々な主体が、共通目標を持って活動に取り組むための技術的指針を示したガイドライン



多様な主体とのパートナーシップを拡充

協働による生物調査で課題を抽出

- ▶「浅间山を考える会」と協働で**鳥類、昆虫類、植物類のモニタリング**を実施。**園内の樹林化が進んでいる**という結果が得られた。今後はムサシノキスゲ等が好む明るい環境を維持するため、**皆伐やササ刈り**を行っていく。



調査実施状況

- ▶近隣の浅间中学校との園内保全作業「**全山清掃**」や**園内初となる初では無いよ！**近隣小学校の総合学習受け入れを通し、**学校連携**を推進。パートナーシップ拡充により、**公園の魅力や地域の価値向上を推進**することができた。



公園の理想の姿について考えるワークショップを実施

公園の安全性向上を目的とした取組み

## 2 安全衛生の専門家と共に浅間山特有の課題を解決！

公園施設の安全衛生を専門スタッフと点検する「**パークスキャン**」を実施し、維持管理の課題として**ナラ枯れ**のほか、大雨や台風による**土砂の流出**について調査をした。平成28年に整備された新規開園地の擬木階段は雨で土が減り、段差が高く擬木も傾いて上り下りが困難になっており、自然保護のボランティア団体からも改善の要望を受けていた。土を入れ戻すだけでは根本解決にならないため、**専門家のアドバイスにより土流出のための仕切りを入れることや舗装方法を変更**。浅間山の自然環境を維持しながら利用者が快適に歩ける整備が実現できた。



ナラ枯れ被害状況は園路や住宅地側斜面を中心に確認し伐採を実施



擬木階段の修繕について専門家に相談しアドバイスを受ける



土の減りと共に形の崩れた丸太擬木を修復。真砂土を使用し固まって崩れにくい舗装に変更した



協働型生物多様性保全のトップランナーとしての森づくりと人づくりの実践

## 3 イベントを通し、生物多様性普及啓発と次世代の森づくり・人づくりを実践！

多様な動植物が生息する**浅間山の豊かな自然環境の保全**を**産官学民多様な主体との協働イベント**で実践。浅間山の自然を楽しむイベントを充実すると共に、**地域で一体**となって**身近な自然を保全**していく気運を醸成できた。

森キッズDAYドングリde森づくり

- ▶ **ナラ枯れの長期対策**として、**市民参加型による浅間山の森づくり**プログラムを**府中市と協働**で継続実施。ポット苗づくり～浅間山へ定植の過程を**2年かけて完了**した。
- ▶ 参加者からは「親子で苗を育て、公園の森づくりに関わることができて新鮮で良い体験でした！」など意見があり、**自らの手で環境保全を進めていることを実感**してもらえた。また、**地域性種苗の育成**により、地域に根差した**次世代の森づくり**を実践できた。



参加者が各家庭で育てたポット苗



地域性種苗を現地に植え戻し



参加者の集合写真

小鳥のおうちをのぞいてみよう！

- ▶ これまで「浅間山を考える会」と協働で実施していたシジュウカラの巣箱調査を**誰もが参加できるイベント**として開催。
- ▶ 設置してある24個のシジュウカラの巣箱調査を体験。府中野鳥クラブやパークレンジャーによる野鳥の生態等の解説を通して、**浅間山の生物多様性について普及啓発し、自然を守る人づくり**を実践した。



9割の巣箱が利用され、生物多様性に貢献！



全体集合写真



適正な維持管理を行うための取組

## 4 清掃技術指導によるアメニティの向上！

- ▶ 快適なトイレ空間を保つため、清掃を委託している社会福祉法人の2団体向けに**建築物環境衛生管理技術者による清掃研修**を実施した。各所の汚れに適した洗剤・用具を使用し、**利用者目線に立った清掃**を行うことで、**清掃技術の向上**に繋がった。



研修では環境に配慮した洗剤や水性サンドペーパーを用いた清掃を指導



研修後、実践の様子を四半期ごとに確認

その他の取組

- ・ハイイロゴケグモ確認による駆除と被害防止啓発
- ・ナラ枯れ被害拡大に伴う園路封鎖
- ・台風後の側溝閉塞対応
- ・農工大によるナラ枯れ被害調査
- ・ドローン技術を活用した空撮調査
- ・キスゲフェスティバルの協同開催
- ・冬鳥の観察会開催
- ・ボランティアの安全管理講習実施

新たな景観づくりの推進

## 5 “関東の富士見百景”の眺めを守る景観に配慮した剪定伐採

- ▶ 浅間山公園の見どころの一つ国土交通省認定の「**関東の富士見百景**」では、眺望に支障のある樹木が複数本確認されていた。伐採要望もあったため、指定管理者で協議の上、2本のコナラを伐採した。**「ダイヤモンド富士」**などの眺めを楽しみにする利用者の要望に応えることができた。



before



after





# 都立野川公園

所在地：調布市、小金井市、三鷹市  
開園面積：40.3ha

<マネジメント目標（野川公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・水と緑の骨格軸の形成する都立公園
- ・多様な生物の貴重な生息・生育空間となる都立公園
- ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園  
特性

地域  
特性

- 武蔵野地域の8公園を**統括する公園**。
- 公園の前身であったゴルフ場を思わせる**大芝生**と季節の自然を楽しめる**大きな樹木群**が魅力。
- 園内には**野川**が流れ、公園北側には**国分寺崖線の斜面緑地**が隣接。
- はけの道の自然を観察できる**自然観察園と自然観察センター**がある。
- 自然観察園、自然観察センターでは、**約100名のボランティアが保全活動**を実施。

ポテンシャル  
分析

- 近隣に武蔵野公園、武蔵野の森公園、多磨霊園、国立天文台、国際基督教大学などの**大きな緑地が位置**する。
- 東八道路が園内を東西に横切り、西側には**西武多摩川線**が通る。
- アメリカンスクール、国際基督教大学、東京外国語大学などが近隣にあり、外国人の住民が多い。

テーマ

ここに集まる・ここから広がる  
武蔵野の自然と文化

New!

## 1 初の対面実施! 「第3回はけの自然とくらしのフォーラム」を開催

ALL  
Parks

国分寺崖線沿いの行政・企業・大学・NPOなどとの広域連携

国分寺崖線の緑地を所有するまたは管理を担う、**行政、企業、大学、NPOなどの広域連携**により、国分寺崖線の保全活用の推進を目的とする「**はけの自然とくらしのフォーラム**」を開催。フォーラムでは、当パートナーズが事務局として、事前調整から準備、当日の運営までを一手に担った。第3回となる今回は、**環境省の「自然共生サイト」**をテーマに、初の対面形式で開催。また今回から**連携の範囲が広がり**、国分寺崖線の中下流域である世田谷区、大田区エリアや、立川崖線のエリアからも参加者が集まった。

【自然共生サイト】環境省による「自然共生サイト」認定は2020年度から検討が始まり、今年度より本格開始。過去の「はけの自然とくらしのフォーラム」をきっかけに、崖線上の緑地所有団体より事務局が申請相談を受け、2団体が今年度前期分に申請。「自然共生サイト」の認定を取得することができた。

### 参加団体

※赤字は初参加団体

- 行政：環境省関東地方環境事務所、東京都都市整備局、東京都環境局、東京都建設局、府中市、国分寺市、小金井市、三鷹市、調布市、**世田谷区、江戸川区**（オブザーバー）
- 大学：国際基督教大学、東京経済大学、東京農工大学、**東京大学**
- 企業等：(株)日立製作所、(一財)小林理学研究所、リオン(株)、(株)地域環境計画、(一社)いきもの共生事業推進協議会、はけの道編集室、(株)ポリテック・エイディディ、(株)SUBARU、(一財)世田谷トラストまちづくり、**サントリーホールディングス(株)、(株)生態計画研究所**
- NPO等：ガーデン紀行連絡協議会（(一社)武蔵野コッツウォルズ）、NPO地域自然情報ネットワーク、都立ヶ谷戸庭園、都立神代植物公園、NPOめぐるのまち国分寺、小金井市環境市民会議、NPO花と緑のまち三鷹創造協会、**大國魂神社、田園調布せせらぎ公園・せせらぎ館、NPOグリーンネックレス、NPOくにたち農園の会**

### 開催概要

- ・日時：令和6年2月22日 13:30～16:30
- ・場所：国際基督教大学 ダイアログハウス内 国際会議場
- ・後援：東京都、三鷹市、府中市、国分寺市、小金井市、調布市

### 第1部 講演（国際基督教大学国際会議場）

- ・開会のご挨拶（武蔵野の公園パートナーズ本部 清水卓）
- ・趣旨説明（NPO法人Green Connection TOKYO 佐藤留美）
- ・「自然共生サイト」について  
（環境省 関東地方環境事務所 一宮勢子氏）
- ・【認定サイト事例】  
「ICU三鷹キャンパスの森」（学校法人国際基督教大学 中嶋隆氏）  
「日立製作所国分寺サイト協創の森」  
（株式会社日立中央研究所 布袋和博氏）
- ・トークセッション

### 第2部 現地見学会（国際基督教大学～野川公園）

パークレンジャーと専門研究者による自然共生サイト及び野川公園の視察



受付ではスタッフが笑顔でお出迎え



初の対面開催！会場内は盛況！



国際基督教大学～野川公園を歩く現地見学会



過去最多！  
35団体90名が参加！

常駐の専門スタッフによる迅速なニーズへの対応

## 2 多様化したニーズに的確に応え、新たな形の環境教育プログラムを推進！

ポストコロナ社会において、学校団体や地域団体からの**多様なニーズの増加**に伴い、コロナ禍で培った**デジタル技術を活かして**、より多くの参加者の受け入れを実現し、**新たな形の環境教育プログラムを推進**することができた。

### 大学と連携しインバウンド促進！

▶近隣大学より、**夏期留学生向け**に生態系保全等の公園での取組に関する講座希望があった。**大人数に対応可能なライブ配信の形をとり、日英同時通訳で実施**。大学関係者も含め、身近な自然を学ぶ**非常に良い機会**だったと感謝された。



中国、カナダ、アメリカなど世界各国から集まった参加者

同時通訳により日本語と英語でプログラムを展開

### 近隣の学校とオンラインで連携！

▶コロナ禍でのプログラム実績を踏まえ、一度に大人数を受け入れるべく、**オンラインレクチャーを実施**。より興味のある学生に後日個別インタビューを受ける形で質問にも対応。教員からも感謝の声が寄せられ、**受入れの幅を広げる事ができた**。



園内をパークレンジャーが生中継ガイド

### 地域連携プログラムをハイブリット形式で実施！

▶家から気軽に参加したい、遠出が困難といった参加者のニーズを受け、自治体と連携し、**対面とオンラインのプログラムを並行して実施**。「苦手な虫に興味を持った」等、**身近な自然へいざなうことができた**。



子どもたちが捕まえた生きものをパークレンジャーが解説

## 3 多様な主体との協働・意見交換の場の創出 対面開催復活! ボランティアの結束力を強化！

- ▶コロナ禍が明け、全てのボランティア活動を4年ぶりに**対面**で実施。約100名の登録ボランティアに、安全管理講習や年次総会などを行い、**ボランティアが安心・安全に活動できる環境づくり**を進めた。
- ▶パークコーディネーターとボランティアが調整を重ね、様々な場面でボランティア同士が直接顔を合わせることで、**ボランティア全員の意思統一と結束力を強化**。**ボランティア活動の活性化を促すことができた**。



登録ボランティアの総会の様子



新規ボランティア向け説明会の様子

## 4 安心安全な公園管理を行うための取組 経年劣化に伴う遊具の交換を実施

- ▶設置年数やひび等の経年による劣化を踏まえて、**予防保全の観点**から改修ではなく交換を行った。劣化した施設の更新を行うことで、破損等による事故を未然に防ぎ、**利用者が安心して楽しめる空間を提供することができた**。



施工前



施工後

## 5 事故を未然に防ぐための安全対策 自然観察園内の木道劣化補修



施工前



施工後

- ▶今年度の整備工事範囲外の木道において、根太等の劣化箇所が92か所発見された。特に危険性のある箇所から補修作業を行い、自然観察園の**利用者の安全を確保**した。

### その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布
- ・ランドスケープパトロール実施
- ・森の地図スタンプラリー
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド

## 6 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法 犬のノーリードへ新たな取組みを実施



早朝巡回実施状況



新たに設置したのぼり

- ▶犬のノーリードへの苦情を受けて、**既存の大型看板での啓発に加え、のぼり旗の設置と継続的に早朝の巡回・指導を実施**した。対応開始後は**苦情が減少**、一定の効果をあげることができた。今後も適正利用を促す取り組みを継続実施していく。

- ・ボランティアとの自然保全作業
  - ・BBQオンライン予約システムの運用
  - ・オリジナルグッズ/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ
  - ・園内全域に及ぶ整備工事への協力
  - ・都市公園制度制定150周年事業への協力
- など



# 都立玉川上水緑道

所在地：福生市、昭島市  
立川市、小平市  
三鷹市、武蔵野市、杉並区  
開園面積：14.7ha

<マネジメント目標（玉川上水緑道パークマネジメントプランより）>

- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・独自の魅力づくりに取り組む都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園  
特性

- 多摩川の羽村から四谷大木戸までの43kmに及ぶ玉川上水に沿って造られた緑道で、杉並区浅間橋から福生市の平和橋までの**24.4kmが開園**されている。
- 古くから多摩・武蔵野エリアの人々に親しまれ、平成15年には、羽村取水口より下流地域が**国の史跡に指定**された。
- 一方で、**老木化した樹木対策や園路のぬかるみ対策**など、保全面と快適性の確保が課題。

ポテンシャル  
分析

テーマ

都市に潤いをもたらす  
水と緑のグリーンライン

地域  
特性

- 玉川上水と周辺の自然と文化を守る**市民活動が盛ん**。
- 小金井公園、井の頭恩賜公園などの公園緑地をつなぐ緑道であり、**ウォーキングの利用も多い**。
- 近隣には、小・中・高および大学が多く隣接し、JRや私鉄各線の駅が近いため、**通勤・通学のための利用が多い**。
- 小金井橋を中心とした約6kmは**小金井桜の名所**として知られ、大正13年には国の名勝指定も受けた。

ガイドライン活用によるパートナーシップによる保全

## 1 玉川上水緑道保全活用ガイドライン（杉並版）の実践による新たなパートナーシップ！

玉川上水の杉並区エリアは**23区内**に位置しており、都市化が激しい地域において、**生物多様性の拠点としての価値が高い場所**である。「**玉川上水緑道保全活用ガイドライン**」**杉並区エリア版**に基づき、新たな地域連携により、地域において貴重な草地環境の保全が進められた。統一した基準ができることで、誰もが気軽に活動に参加できるようになり、効果的に自然環境保全が進められるようになった。草地や水辺の生物多様性の質が大幅に向上させることができた。

【玉川上水緑道保全活用ガイドライン】自然と歴史を次世代に継承し、安全安心に利用できるグリーンウェイとして、緑道の関係団体等と共通認識を持って、管理を進めるための基本指針。

### 20年以上活動する市民団体とのきめ細やかな保全作業

- ▶**20年以上杉並区エリアの玉川上水で活動している市民団体「玉川上水すぎなみの会」と連携し**、希少種の位置など動植物の状況に配慮した順応的管理を実施。
- ▶活動前に必ずパークレンジャーがガイドラインの記載内容を説明し、作業内容を相互確認。**統一した目的意識**を持って、きめ細やかな管理が可能になった
- ▶ガイドラインの実践運用により、**絶滅危惧種「キンラン（植物）」**の生育数が回復！



各保全活動の前には必ずパークレンジャーの解説によるガイドラインの読み合わせを実施

### 地元中学校との初連携による外来種の選択的除草

- ▶**ガイドラインの完成**により、だれでも自然環境保全に参加できる環境が整い、新たな学校連携に発展！
- ▶**地元中学校と初連携**。当初、清掃活動の打診があったが、パークコーディネーターが調整を重ね、清掃に加えて**外来種の選択的除草**も活動に加えた。
- ▶大人数による外来植物の駆除により、「旧岩通ガーデン」に武蔵野らしい草地在り復活！**絶滅危惧種「ショウリョウバッタモドキ（昆虫類）」**が生息するようになった。



地元中学校との連携により、外来植物720Lの駆除に成功



初確認したショウリョウバッタモドキ  
(東京都レッドデータブック2013\_区部\_絶滅危惧II類)

2

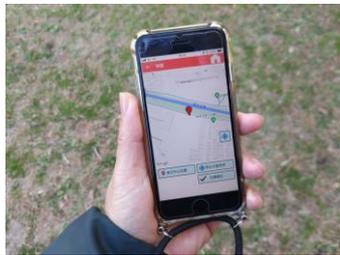
住民の要望に応え、支障を先取りしていく維持管理

パークモニタリングアプリと連動させた要望対応

日々近隣住民から寄せられる越境枝等の要望に対しては、迅速に現地確認を行い、パクモニアプリで記録することで要望対応の実施を確実なものにできた。またデータを振り返り、支障発生場所の点検を日常巡回で行うことができた。

樹木の支障を現場で確認、アプリで記録

▶緑道の樹木や施設に関する要望が寄せられると、迅速に現地確認を行い、パクモニアプリに状況や位置情報を記録。確実に要望対応が進められるよう情報の蓄積と共有を行う。



アプリでは写真や位置情報を記録

日常巡回でも折れ枝や施設破損などを発見するとアプリで記録し、管理所が状況をいち早く的確に把握することで、スムーズで迅速な支障対応を行うことが出来るようになった。



隣接する畑への越境枝



剪定実施後

子どもたちの健やかな成長を応援するキッズレンジャー

3 オンラインを併用した学校連携で、緑道の雑木林を自然体験の場に！

緑道に近接する小学校と継続連携し、コロナ禍で蓄積したデジタル技術のノウハウを活かし、学校のニーズに沿ったプログラムを新企画。長い緑道でも幅広いエリアに環境教育プログラムを提供し、子どもたちへ自然活動体験の場を創出できた。

緑道に隣接する学校とオンライン連携！

▶距離の長い緑道での生徒たちの移動時間の負担を考慮して、パークレンジャーが事前レクチャーをライブ配信。地域の自然と環境保全の取組の普及啓発を推進。

生徒180人対応！オンライン併用プログラムを新企画

▶教員と打合せを重ね、キッズレンジャープログラムを新開発。観察では動画レクチャーを活用。保全では、エコスタックづくりを行い、生物多様性保全を推進。



公園からレンジャーがライブ配信レクチャー



環境学習の要望に応えたスライドショー



デジタル版セルフガイドで自然観察



落ち葉かき体験とエコスタックづくり

ガイドラインによるパートナーシップ型保全

4 玉川上水緑道保全活用ガイドライン（武蔵野市版）作成に着手！

- ▶杉並区版に続く第二弾のエリアとして、武蔵野市版の作成に着手
- ▶懇談会にて、利用状況の共有や、保全案への意見交換などを実施
- ▶現地確認会にて、武蔵野市エリアの自然環境のポテンシャルを確認



懇談会で保全案の意見交換



現地確認で動植物の状況を視察

【協力団体】  
・玉川上水を守り育てる武蔵野市民の会  
・武蔵野の森を育てる会

効果的な情報発信！公共交通機関との広報連携

5 西武鉄道のウォーキングイベントと連携！

- ▶西武鉄道イベント「小平グリーンロード散策！」と連携。1,100人の参加者が緑道を散策！
- ▶スタート地点で緑道のパンフレットを配布し好評を得た。
- ▶玉川上水緑道の概要や見どころを案内したことでより魅力を伝えることができた。



緑道のパンフレットは大好評！



参加者に見所を案内

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・パークスキャン/ランドスケープパトロールの実施
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用

- ・自治会、市民団体と連携したナラ枯れ対策
- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド

- ・多言語パンフレットの発行
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ
- ・都市公園制度制定150周年事業への協力



# 都立武蔵国分寺公園

所在地：国分寺市  
開園面積：11.5ha

<マネジメント目標（武蔵国分寺公園パークマネジメントプランより）>

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・自然とふれあえる場となる都立公園
- ・子どもたちの健やかな成長の場となる都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園  
特性

地域  
特性

- 南側は、**国分寺崖線**につながる野鳥の森、木々に囲まれた広場が落ち着いた雰囲気。北側には外周500mの**円形広場**と水景施設からなる開放感のある空間が特徴。
- 国分寺の魅力再発見をテーマに、市内のカフェやギャラリー、大学等が連携して開催する「**ぶんぶんウォーク**」が**毎年秋に開催**され、公園がメイン会場となっている。
- 武蔵野の天平史跡群の中に位置**し、まち歩き観光者や自然散策者が多く訪れる。

ポテンシャル  
分析

- 旧国鉄の「中央鉄道学園」等の跡地を整備してつくられており、周辺地域は**埋蔵文化財包蔵地に指定**されている。
- 周辺には「武蔵国分寺跡」や「お鷹の道」、「真姿の池」などの**名所、旧跡が点在**している。
- 公園周辺には集合住宅が立ち並び、**感度の高い子育て世代が多く、地域活動が盛ん**。

テーマ

歴史・文化と水のまち  
“むさしのパークライフ”の提案

「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト

## 1 公園で地域みんなの「あったらいいな」を実現！

### こくフェス（うくフェス）

- ▶「音楽に触れる機会や発表できる場を作ることでもちを元気にしたい」という**地域の声から生まれた音楽イベントを開催**！
- ▶ウクレレの演奏を楽しみながら、ヨガやフラのワークショップに参加できる企画を実施。ハワイアンフードを楽しめるキッチンカーも出店！周辺にはテーブルとイスも配置し、カフェ空間を演出。
- ▶新たなコンテンツにより、**市民活動の実現の機会**を創出！



ウクレレのワークショップ



ハワイアンフードも盛況



パフォーマンスを楽しむ参加者



新たにフラ体験型  
パフォーマンスを実施！

New!

### 学生の「あったらいいな」を実現！

- ▶公園近隣の**東京経済大学の学生**からイベント開催の相談を受け、協議。
- ▶単独開催よりも地域に対して働きかけの強いイベント「ぶんぶんウォーク」への出展を調整・実現！
- ▶パークコーディネーターによる**地域住民との積極的な交流が新たな繋がりを創出**した。



子ども向けクイズラリーの実施

### てのわ森の中美術館2023

- ▶作家グループとコラボし**アート作品を屋外展示**。週末には**美術作品と親和性の高いクラフトワークショップ**を開催。
- ▶アーティストによるクイズラリーの実施。
- ▶**身近な公園で芸術に触れられる**点が人気を集め、多数の継続希望！



森とアート作品の調和が好評！



親子で楽しめるクイズラリー

【「あったらいいな」をみんなで作る公園プロジェクト】

公園をもっと魅力的な場所にするために、公園に「あったらいいな」とワクワクすることを市民と共に実施するプロジェクト

ボランティアニーズの受け止め・機会の創出

## 2 多様な主体と連携し、ボランティア活動を拡充！

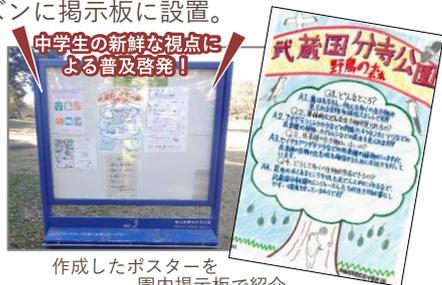
New!

学校連携による新たな形のボランティア活動を実現！

- ▶ 公園近隣の私立早稲田実業学校中等部からの「生きものの普及啓発につながるボランティア活動をしたい」の声を受け実現！
- ▶ 夏季にパークレンジャーの指導の下、園内の生物多様性スポットの外来種の引き抜き活動を実施。
- ▶ 生物多様性に関する普及啓発ポスターを作成し、来園者の多いイベントシーズンに掲示板に設置。



外来種セキタカワダチソウの引き抜き



中学生の新鮮な視点による普及啓発！

作成したポスターを園内掲示板上で紹介

ニーズに応じたボランティア機会の提供

- ▶ 手ぶらで参加できるボランティア体験イベント「ちょいボラDAY」に市民が参加し、一年草の植え替えを体験！
- ▶ 花壇のお手入れやイベント準備などで、デイケア、障害者施設、企業などの日常的なボランティアを受け入れ。
- ▶ 隣接するリオン(株)のCSR活動継続実施！野鳥の森の外来種引き抜きや、閉鎖管理地のササ刈りを実施。



親子や年配の夫婦、単身の男性など様々な人が参加



イベントの準備サポート



年間延べ850人が活躍！！

近隣企業による保全作業

## 3 生態系の保全と再生 水質浄化装置の本格運用に向けた試験導入を開始！絶滅危惧種の種数と個体数が大幅増加

「武蔵の池」再生プロジェクト：水質の改善や生物多様性の向上を行い、水辺環境を再生させる試み

絶滅危惧種カイツブリの繁殖回数・個体数が倍増

- ▶ 「武蔵の池」再生プロジェクトの一環として、令和7年度の本格運用に向けた水質浄化装置(新規植栽柵)の試験導入を開始。既存の植栽柵の周辺に配置し、水辺の生物が息しやすい環境を拡大した。
- ▶ その結果、新規植栽柵の周辺に1シーズン中に2回のカイツブリの営巣を確認。巣立ち個体数は昨年度の倍以上となった。さらに、ヒバカリなどの絶滅危惧種を初確認。また、冬鳥では、マガモの飛来個体数が過去最大となるなど、武蔵の池に生息する生物の種数・個体数が増加が確認された。
- ▶ 今回の試験導入により、新規植栽柵の導入が水辺環境の改善に一定の効果を発揮することが示唆された。今後も継続的に効果測定を行い、令和7年度の本格運用に向けて改良を重ねていく。



新規植栽柵の構造



ヒバカリ(北多摩VU)を初確認！



既存の植栽柵

新規植栽柵を試験導入



カイツブリの繁殖個体数が倍増！

New!

適切な維持管理を行うための取組

## 4 新しい管理手法の導入。安全性と品質が向上！

- ▶ 建築物清掃管理評価資格者によるインスペクション業務により、園内施設の清掃評価を実施。

総合評価で最高評価を獲得



(上) 清掃評価の様子  
(右) 清掃評価シート



- ▶ ラジコン式草刈機を試験導入し、法面の草刈作業の安全性が向上。

遠隔操作で滑落事故防止



作業の様子

New!

新しい機材の導入

## 5 電気自動車の導入

- ▶ ゼロエミッション東京への取り組みの一環として、使用車両をガソリン車から電気自動車に！業務に使用する際も、電気自動車を積極的に使用しCO2の削減に寄与した。



導入した電気自動車

その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・農工大と連携したナラ枯れ全木調査の実施
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・防災学習会の実施、防災マップの配布
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド
- ・地域連携イベント「ぶんぶんウォーク」
- ・キッズプログラム「あそぶの森」
- ・掲示板改修/点字パンフレット貸出/オフィスカー
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ
- ・都市公園制度制定150周年事業への協力

など



# 都立東伏見公園

所在地：西東京市  
開園面積：5.2 ha

< マネジメント目標（東伏見公園パークマネジメントプランより） >

- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
- ・安全・快適な公園づくりを行う都立公園
- ・水と緑のネットワークを形成する都立公園
- ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
- ・都民や企業等とのパートナーシップを推進する都立公園

公園  
特性

- のびのびと体を動かせる多目的の広場が広がり、**西武鉄道を見下ろす展望の良い休憩施設**がある。
- 近隣に大きな広場を有する公園がないため、**地域の子どものための格好の遊び場**となっている。
- 一方で、利用者がふえ、安全管理や利用指導が課題。

ポテンシャル  
分析

地域  
特性

- 特別緑地保全地区に指定されている**東伏見稲荷神社の森が隣接**し、緑豊かな景観を形成している。
- 公園南側には、石神井川が隣接し、**緑と水に恵まれた立地**にある。
- 公園北側には、東西の西武新宿線が隣接しており、**西武柳沢駅からのアクセスが良く**通勤通学のための通過利用者も多い。

テーマ  
緑と水に恵まれた  
ヘルシーパーク

すべての利用者が心地よく公園を使えるマナー向上のためのキャンペーン

## 1 多様なプログラムと連動しマナー向上の気運をさらに醸成！

ALL  
Parks

愛犬家や野鳥観察者、他の来園者への配慮などマナー向上を目的とした**マナーアップキャンペーン**を継続開催。のぼり設置やポスター掲示等の従来の方法に加え、**デジタル技術を活用**して、来園者へマナーアップ宣言の**メッセージを積極的に発信**。さらに、**地域団体と連携した**普及啓発プログラムを開催。多様な手法でマナー向上を呼びかけ、**心地よく公園を楽しむ雰囲気づくり**をこれまで以上に醸成することができた。

### 犬のマナーアップキャンペーン

- ▶ドッグカウンセラー監修の研修動画を各公園の**新人スタッフ研修で活用**し、ペットに関する正しいルールやマナーの知識を習得した。本キャンペーンを通して、**愛犬家へのマナー啓発**と**スタッフの利用指導力の向上**が実現した。



ドッグカウンセラー監修の研修動画・資料

### 野鳥観察マナーアップキャンペーン

- ▶都立公園150周年事業「It's My Park Day～みんなで公園マナーアップ日和～」と連動。狭山丘陵・多摩部の都立公園グループと連携して同時開催し、マナー向上を横断的に呼びかけ、**広域で一体**となって気運を醸成した。



デジタルサイネージを活用した普及啓発

野鳥調査の専門団体による冬鳥の観察会



市民団体との合同クリーン運動

キャンペーンWebサイト



パークレンジャー等が撮影した野鳥写真展

来園者へのマナー向上の呼びかけ

New!

パートナーシップによる生物多様性向上の取組

## 2 絶滅危惧種が生息する草地を協働で創出！

武蔵野らしい草地の風景を復活させるため、**園内初となる生物多様性スポット「ばったランド」**を設定。鉄道敷地内の良好な草地環境と連結させ、**重点的な管理**を行った。さらに質を高めるため、**パークコーディネーターが調整**し、新たな地域連携での保全活動も実施。**新たに絶滅危惧種を確認**するなど、草地環境の質を飛躍的に高め、**生物多様性向上を推進**できた。

【生物多様性スポット】武蔵野本来の生態系が色濃く残り、生物多様性のポテンシャルが高い場所として、特に重点的な保全管理を行う場所。



鉄道敷地の質の高い草地と隣接させて設置



地元中学校との連携で外来種の選択的除草を実施



希少種4種！

クロベッコウ  
ハナアブ

オナガ

モズ

ショウリョウ  
バッタモドキ

希少種4種を新たに確認！

都民の健康増進への取組

## 3 各種スポーツ教室とスポーツイベントを開催！

のべ  
1,496人参加

ALL  
Parks

▶スポーツの楽しさを知る機会、日々の健康づくりの場としてスポーツ教室を**10種類・計85回開催**したほか、スポーツへの興味・関心を深めるきっかけづくりを目的としたスポーツイベントも開催し、**ヘルシーパークの推進に寄与**した。



定期教室「親子スポーツ教室」の様子



スポーツイベント「チャレンジキャラバン」の様子

適切な維持管理を行うための取組み

## 5 ローラーすべり台の改修を実施！安心して利用できる施設を提供！

▶ローラーすべり台**全2,056本のローラーの精密点検を実施**し、その内破損リスクの高い**206本の交換を実施**した。今年度は点検結果を基に優先順位をつけ交換を行い、**安全性を確保**した。次年度以降についても計画的に改修を行い、**安心して利用できる施設の提供**を行う。

点検結果を基に優先順位を確認



改修後のローラーすべり台  
(白っぽく見えるのが交換したローラー)

タイムリーな公園情報を伝える取組

## 4 公式Instagram始動！写真や動画で公園の“旬”をすばやく発信

ALL  
Parks

▶公式**Instagramでの情報発信**の本格運用を開始。植物情報、イベント告知、園内ニュースなど各公園「今伝えたい」見頃情報を発信している。テキストだけでは伝わらない雰囲気視覚的にアピールし、**来園促進につなげることができた**。



人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

## 6 全スタッフ対象の基礎技術研修を実施！基礎技術向上と職場環境の向上に寄与！

▶接遇、個人情報保護、緊急時対応、ユニバーサル研修、コンプライアンス研修、防災無線訓練等、**基礎技術研修を定期的**に実施。スタッフの**能力向上**と**安心して働ける職場環境の創出**に寄与することができた。



新スタッフ向け導入研修



占用/行為許可申請及び公金取り扱いにかかる研修

### その他の取組

- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用
- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム

- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・レンジャーミニ図鑑とセルフガイド/タブレットガイド
- ・PLAY BOOK/パークライフマガジン/公園まちガイドマップ

- ・都市公園制度制定150周年事業への協力

など



# 都立六仙公園

所在地：東久留米市  
開園面積：5.9ha

- < マネジメント目標（六仙公園パークマネジメントプランより） >
- ・地震災害時への対応のため、防災機能を強化・充実した都立公園
  - ・安心・快適な公園づくりを行う都立公園
  - ・東京の水と緑の骨格軸の形成に寄与する都立公園
  - ・スポーツによる健康づくりの場となる都立公園

公園  
特性

- 芝生広場、みはらし広場等の**原っぱと運動広場や健康遊具**が設置された健康づくりゾーン、地下水が気持ち良い**水景施設等が整備**されている。
- 花壇ボランティアの活動による花壇の花々**が来園者を温かく迎えている。
- 市民企画のイベント関係による地域の人の**コミュニティが再構築**されつつある。

ポテンシャル  
分析

地域  
特性

- 「**水の森創造**」をコンセプトに、武蔵野の原風景再現と、隣接する「南沢湧水地」の涵養地としての整備が進んでいる。
- 公園西側、および南側には住宅地や農地が混在し、**地域住民の日常的な利用**が多い。
- 小学校跡地という立地や、近隣に小中学校があることもあり、**子どもたちの利用**が多い。  
(中学生の花壇ボランティア活動もある)

テーマ

湧き出す地域コミュニティ

地域コミュニティのヘルシーを高めるプログラムを実施

## 1 「麦の収穫祭～東久留米麦まつり～」を開催！地域住民のコミュニティ形成の場を創出！

- ▶地域団体・市民と共に「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」として「麦の収穫祭～東久留米麦まつり～」を開催！出店数は**81店舗**で、昨年と比べて**1.8倍増加**し、コロナ禍前の活気が戻った。今年で**連続8年目**となる実行委員がSNSでの発信を駆使し、**広報を強化**したことにより、昨年より**1.5倍多い過去最大となる4,539人**が来場した。
- ▶イベント内に設置した公園ブースでは、公園情報や協働活動など公園の取組を発信したことで、**花壇ボランティアの活動を周知**することができた。また、同時開催した「**レンジャープログラム**」では、公園や地域の自然や歴史、自然環境保全の取組についてパークレンジャーが解説を行い、**地域に残る自然の豊かさや魅力について広く発信**した。
- ▶公園周辺で活躍する様々な団体・市民が集い、東久留米市の地場作物である柳久保小麦など地域の産業や伝統を近隣に発信するとともに、**地域住民をつなぐコミュニティ形成の場を創出**することができた。

【「あったらいいな」をみんなでつくる公園プロジェクト】

公園をもっと魅力的な場所にするために、公園に「あったらいいな」とワクワクすることを市民と共に実施するプロジェクト



イベントチラシ



実行委員が作成した会場マップ  
カフェや雑貨の販売・パンマルシェ・歴史展示・  
リラクゼーションなど多彩なブースを  
エリア分けて開催



地場作物の柳久保小麦を使ったパンの販売



公園オリジナルグッズも人気



剥製や生体展示、写真パネルを設置した  
レンジャープログラムの様子



麦挽き体験コーナーのかかしは  
イベントのシンボリックな存在

### 参加者の声

- ・普段行ったことのない地元のお店の方と交流が出来て良かった。
- ・リラクゼーション部門が充実していて、外でマッサージを受けるととても気持ちよかった。
- ・色々なお店やプログラム等が行われており、公園全体でとても楽しく過ごせた。

地域のコミュニティを再構築し、防災と環境教育の拠点となる取組

## 2 過去最大数の出展者と共に「防災キャラバンin六仙公園」実施！

- ▶ **小学校跡地**という立地特性を活かし、「防災」をテーマとした公園中心の地域コミュニティを構築するため「**防災キャラバンin六仙公園**」を実施。指定管理者・地元自治体・地域関係者で構成する「**防災キャラバンin六仙公園実行委員会**」が主体となって企画から運営まで行った。当日は、初期消火体験やトークセッション等、**来場者が主体的に防災について学べる機会**を提供した。
- ▶ 5回目の実施となった今回は、**過去最大数の27団体が出展**。指定管理者が実行委員会の事務局となり、事前に綿密な調整を行った。オンラインプラットフォームでの日常的な情報交換、月1実行委員会での企画調整、出展者説明会での自助共助について考えるワークショップ等を通し、**指定管理者と地元自治体・地域関係者で災害時にも役立つ地域の繋がり**を築き、**地域防災力向上に貢献**した。



広報チラシ



初期消火体験や防火衣体験等を通して来場者が主体的に防災について学習



New!

阪神淡路大震災の被災者が体験談を話す「はらっぱトークセッション」を初実施



出展者に主体的に参加してもらうため事前説明会にて自助共助について学ぶワークショップを実施

主催：防災キャラバンin六仙公園実行委員会（武蔵野の公園パートナーズ、東久留米市防災防犯課、防災マーケットチーム）  
後援：東久留米市、東久留米市社会福祉協議会 協力：東久留米消防署、キャンパルジャパン株式会社、有限会社山下商事

都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

## 3 ボランティアと協働で園内11ヶ所の花壇管理を継続！

- ▶ 「六仙公園花ボランティア」とパークコーディネーターが協働で、**園内11ヶ所**の花壇管理作業を実施。年間を通して、花壇の花々が公園を美しく彩り、**来園者を温かく迎えることができた**。
- ▶ 「六仙公園花ボランティア」の現代表退任にあたり、次年度からの花壇活動方針についてボランティアの会員とパークコーディネーターでミーティングを実施。次年度の**ボランティア運営体制を見直し**、さらなる**活動の活性化や地域団体の受け入れに向けて体制を整えることができた**。



月1回の定例活動の様子



次年度の花壇活動方針について意見交換

花壇と記念写真

## 4 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的取組み ポテンシャル×ニーズを管理運営に反映する PDCAサイクルの推進！



ワークショップ形式で地図上に意見を落とし込む



ポテンシャル分析シート

- ▶ 令和3年度に実施した**ポテンシャル分析シート**の見直し分析ミーティングを実施した。公園をより良くするための課題を抽出し、優先順位を付けて計画を策定。更なる公園の**ポテンシャルの向上計画**をたてることができた。

### その他の取組

- ・犬、野鳥観察マナーアップキャンペーンの実施
- ・パークスキャン&ランドスケープパトロールの実施
- ・レンジャーミニ図鑑/セルフガイド/タブレットガイド
- ・PDCAサイクルによる苦情要望分析と反映
- ・生物多様性スポットの運用
- ・スポーツコーディネーターによるスポーツ教室
- ・施設点検の徹底と改修作業による施設の長寿命化
- ・パークモニタリングアプリの運用
- ・イベント「ちょいボラ」での花壇作業
- ・市民参加型パークモニタリングシステムの運用
- ・むさしのキッズチャレンジなどレンジャープログラム
- ・PLAY BOOKの配布

など

## 5 適切な維持管理を行うための取組み 防災防犯を意識した高木剪定を実施！



剪定作業前



剪定作業後

- ▶ 公園西側一帯の樹木の剪定を実施した。**台風等による被害の軽減**を図った他、下枝をあげることで**園外から園内の見通しを確保し、防犯性を向上**させることができ、**安心、安全な空間を提供**することができた。

## 収支状況

3 収支(単位:千円)			
	令和5年度	令和4年度	令和3年度
項目	金額	金額	金額
収入計	517,764	595,893	502,489
内訳			
指定管理料	517,764	595,893	502,489
利用料金	0	0	0
その他収入	0	0	0
支出計	517,764	595,893	502,489
収支差	0	0	0